

## 次号予告

### 特集 第32回RAMP数理最適化シンポジウム

- 2部マッチング理論の代数的一般化について.....岩政勇仁(京都大学)  
整凸多面体の組合せ的直径.....鮎川矩義(東京理科大学)  
群ラベル付きグラフにおける組合せ最適化.....山口勇太郎(九州大学)  
組合せ最適化による問題解決の実践的なアプローチ.....梅谷俊治(大阪大学)  
非線形半正定値計画問題に対する主双対内点法  
.....矢部 博(東京理科大学), 山下 浩・原田耕平(株式会社NTT データ数理システム)  
交互射影法の理論と応用.....田中未来(統計数理研究所)  
確率的自然勾配法に基づくOne-Shot Neural Architecture Search.....白川真一(横浜国立大学)

### メンバーリストに登録しよう

会員の方は、本学会のメンバーリストに登録すると、学会ならびに各研究部会の主催する研究発表会・セミナー等の催し物に関する最新情報が得られます。登録方法については、<http://www.orsj.or.jp/members/mlhowto.html>をご覧ください。

### 編集後記

- 毎年、5月号の特集は関西支部が担当しています。今回は、令和2年11月にハイブリッド形式で開催しました関西支部シンポジウムでご講演いただいた5名の方に寄稿いただきました。
- コロナ禍の中、支部シンポジウムをハイブリッド形式で開催するにあたっては、十分な大きさの会場を用意するとともに、消毒用アルコールや参加者の連絡先記入用紙を準備するなど、考えられる範囲ではありますが、万全の体制で開催に臨みました。おかげさまで、会場参加者が17名、オンラインでの参加者が52名あり、盛況のうちに無事終了しました。
- 私にとって、講演を対面で聴講するのは10ヶ月ぶりのことでした。また、普段、研究活動を通じて親し

くして頂いている方々とお会いするのも前年度の関西支部運営委員会以来9ヶ月ぶりでした。ですので、会場に到着してからは、不思議な感じの高揚感に包まれていたのを思い出します。改めて、対面で人と交わることは非常に大切なことであるということを感じさせられました。

- 昨年の5月号の編集後記を書いていた1年前には、夏頃までにはなんとかなるのではないかとという淡い期待を抱いていたのですが、見事に裏切られてしまいました。ワクチンの接種も進んでいますので、今度こそ、コロナ禍の早期終焉を期待したいと思います。

(滝根哲哉)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

- 委員長 繁野 麻衣子(筑波大学)  
特集号担当編集委員 伊豆永 洋一(九州大学)  
関西支部編集委員長 滝根 哲哉(大阪大学)  
オーガナイザ 牧野 和久(京都大学)  
関西支部編集委員 檀 寛成(関西大学), 牧野 和久(京都大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

令和3年5月号 第66巻 第5号 通巻725号

代表者 田口 東

発行所 公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032

<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 繁野 麻衣子

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 〒151-0051

- ・本誌購読のお申込みは、日本オペレーションズ・リサーチ学会へ。
- ・本誌への広告のお申込みは、明報社(Tel 03-3546-1337)へ。